

## 令和2年度当初予算知事審査における主要な議論

### (企画財政部)

#### ■ 行政のICT化・ペーパーレス化による県民サービスの向上及び業務効率化 (B7、B8、B9、B25)

知事 これまでも指摘したとおり、ペーパーレス化は単なる事務効率化ではなく、働き方・文書管理の仕方などにつながる重要な入口である。ペーパーレス大作戦について、モバイルPCがないとペーパーレス化は難しいという話を聞く。会議の際もモバイルPCがあればその場で入力できるが、それがないと紙を持参してしまう。県庁LANパソコンを順次モバイルPCに移行とのことだが、今回の予算でどの程度対応できるのか。

担当部局 県庁LANパソコンは5年間のリース契約である。今後はリース満了のものを順次移行し、5年間で全てのパソコンがモバイルPCに入れ替わる予定。

知事 AI-OCRを拡大するとしているが、紙を少なくすると逆に減っていく分野ではないか。

担当部局 本来はシステム等で解決すべきであるが、急にシステム改修はできないため過渡的にRPAやAI-OCRを活用している。今後、AI-OCRを活用する場面は徐々に減っていくと思うが、現状では過去の資料など紙ベースの資料があるので一定期間は必要と考える。

知事 埼玉コンシェルジュはどの程度案内できるのか。県民からの質問に答えるだけなのか。それとも、電子申請ができるページのURLを案内して、電子申請を誘導することまでできるのか。

担当部局 URLを表示して誘導することも可能。

知事 来年度はどの程度やっていくのか。

担当部局 まずは今年度構築しているシステムを来年度運用しながら、しっかりと検証する。

# 令和 2年度予算見積調書 その1

課室名 改革推進課、情報システム課  
 担当名 A I推進担当、企画・セキュリティ担当  
 内 線 2442他 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B7・B8 B9・B25	行政のICT化・ペーパーレス化による県民サービスの向上及び業務効率化	一般会計	総務費	総務管理費, 企画費	人事管理費 企画調整費	行政改革推進費 情報政策推進費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし	宣言項目	分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業概要	ペーパーレス化やテレワークの推進、A I等新技術の導入などにより、仕事の仕方を抜本的に見直し、職員の業務効率化や県民サービスの向上を図る。 (1) ペーパーレス大作戦 74,251千円 (2) 業務効率化 162,072千円 (3) 県民サービスの向上 39,926千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	5 事業説明 (1) 事業内容 ア ペーパーレス大作戦 74,251千円 (ア) ペーパーレス化等による働き方改革の推進 ・ペーパーレス執務室のモデルルームとして、知事室にスマート化の象徴的な空間を構築 ・各部局に大型モニタ等を整備し、ペーパーレス会議・Web会議の取組を拡大 ・モバイルPCへの移行、出張時向けPCをモデル課所に配布しテレワークを推進 (イ) 業務システム等再構築の推進 内部系業務の基幹システムである業務システム等を再構築 イ 業務効率化 162,072千円 (ア) RPA・AI-OCRの導入拡大 定型的な業務の効率化のため、RPAやAI-OCRの導入を拡大 (イ) 業務アシスタントシステムの導入 AI等の技術を活用した、業務に必要なナレッジの蓄積や高度な検索機能を備えるシステムを構築						
3 地方財政措置の状況 なし	ウ 県民サービスの向上 39,926千円 (ア) 埼玉コンシェルジュの運用 AI技術を活用した県民向け問合せ自動応答システムの運用、県民サービス向上のための機能拡張 (イ) AI音声翻訳システムの導入 行政サービスや生産性の向上のため、AI技術を活用した自動翻訳システムを導入						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×7名=66,500千円							
財 源 内 訳							
予算額						一般財源	前年との 対比
決定額	276,249					276,249	143,019
前年額	133,230					133,230	